平成24年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月29日

上場会社名　パーク24株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4666　URL　http://park24.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西川　光一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長　(氏名) 佐々木　賢一　TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日　平成24年3月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第1四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第1四半期	33,147	15.6	4,027	18.4	3,893	17.1	2,191	96.8
23年10月期第1四半期	28,668	7.6	3,402	3.5	3,324	8.1	1,113	△34.6

(注)包括利益　24年10月期第1四半期　2,100百万円　(79.2%)　23年10月期第1四半期　1,172百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第1四半期	15.36	15.29
23年10月期第1四半期	7.82	7.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第1四半期	107,581	40,570	37.5
23年10月期	108,935	41,685	38.0

(参考) 自己資本　24年10月期第1四半期　40,291百万円　23年10月期　41,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年10月期	―				
24年10月期(予想)		0.00	―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,500	15.1	7,000	32.5	6,800	34.6	3,850	108.9	27.00
通期	139,000	12.0	16,500	24.1	16,000	25.9	9,000	37.5	63.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期1Q	150,236,004 株	23年10月期	149,023,304 株
② 期末自己株式数	24年10月期1Q	6,460,837 株	23年10月期	6,460,877 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期1Q	142,708,338 株	23年10月期1Q	142,491,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成23年11月１日～平成24年１月31日）におけるわが国経済は、欧州の債務危機などを背景とした海外経済の減速や歴史的な円高水準の継続により、輸出は停滞し生産の回復は弱含みで推移しました。個人消費や住宅建設の一部に持ち直しの動きが見られたものの、物価はデフレ基調が継続し、先行きの不透明感は拭えない状態が続いております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、「駐車場事業」においては件数・台数の拡大を、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスの収益性向上とカーシェアリングサービスの市場創造に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結会計期間の当社グループの売上高は331億47百万円（前年同期比15.6％増）、営業利益40億27百万円（同18.4％増）、経常利益38億93百万円（同17.1％増）、四半期純利益21億91百万円（同96.8％増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業」

開発面においては、量的拡大と収益性を重視した開発を進め、当第１四半期累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営台数は358,835台となり、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営台数は前連結会計年度末比0.1％増の457,836台となりました。

収益面では、TONIC（タイムズオンラインシステム）データの分析を通じた施策による既存物件の収支改善等により、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は270億55百万円（前年同期比10.0％増）、営業利益は56億53百万円（同4.8％増）となりました。

「モビリティ事業」

レンタカーサービスについては、法人向け提案の強化や新規営業所の出店等により、新しい顧客層の開拓に努めております。草創期にあるカーシェアリングサービスについては、配備車両の増加とプロモーション活動の展開により、当第１四半期累計期間末における会員数は前連結会計年度末比18.8％増の85,350人となりました。また、昨年３月の株式取得に伴い開始したロードサービスについても、新規クライアントの獲得等により堅調に推移しました。

この結果、モビリティ事業全体の当第１四半期累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比2.7％増の26,937台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は3,458台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は61億36百万円（前年同期比41.2％増）、営業損失は３億２百万円（前年同期は２億77百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13億53百万円減少して1,075億81百万円となりました。これは主として現金及び預金が９億77百万円、受取手形及び売掛金が４億23百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、同２億39百万円減少し、670億10百万円となりました。主な増減と致しましては、未

払法人税等の減少20億４百万円、支払手形及び買掛金の減少５億47百万円、賞与引当金の減少４億70百万円、長・短借入金の増加29億11百万円となっております。

純資産は、四半期純利益の計上により21億91百万円、ストックオプションの行使による新株の発行により10億24百万円増加したほか、剰余金の配当により42億76百万円減少したこと等により、同11億14百万円減少し、405億70百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて９億77百万円減少し、110億３百万円となりました。

当四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、35億55百万円（前年同期比１億64百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益70億65百万円に対し、法人税等の支払額32億42百万円、未収入金の増加額７億50百万円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用したキャッシュ･フローは、36億20百万円（前年同期比64百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ開設や車両の取得に伴う、有形固定資産の取得による支出30億70百万円、長期前払費用の取得による支出４億14百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ･フローは、９億11百万円の資金の支出（前年同期比19億75百万円の支出の減少）となりました。これは、配当金の支払額42億80百万円があった一方、短期借入金の純増額18億80百万円、長期借入れによる収入21億円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の連結業績予想につきましては、「平成23年10月期 決算短信」（平成23年12月15日付）で公表した数値に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 当四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

当第１四半期連結会計期間より「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）および「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間経過後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年１月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,997	11,019
受取手形及び売掛金	5,056	4,632
たな卸資産	553	581
その他	8,041	8,527
貸倒引当金	△41	△36
流動資産合計	25,608	24,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,437	10,322
機械装置及び運搬具（純額）	18,684	18,893
土地	24,654	24,654
リース資産（純額）	10,553	10,283
その他（純額）	3,507	3,715
有形固定資産合計	67,837	67,870
無形固定資産		
のれん	2,068	1,979
その他	1,016	1,075
無形固定資産合計	3,085	3,054
投資その他の資産	12,403	11,929
固定資産合計	83,327	82,855
資産合計	108,935	107,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,961	1,414
短期借入金	22,162	29,414
未払法人税等	3,439	1,435
賞与引当金	958	488
引当金	99	36
その他	12,595	12,661
流動負債合計	41,218	45,451
固定負債		
新株予約権付社債	1,000	1,000
長期借入金	13,290	8,949
退職給付引当金	891	872
引当金	223	232
資産除去債務	3,404	3,447
その他	7,222	7,057
固定負債合計	26,031	21,558
負債合計	67,249	67,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年１月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,864	7,377
資本剰余金	8,618	9,130
利益剰余金	36,259	34,174
自己株式	△9,343	△9,343
株主資本合計	42,399	41,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	47
土地再評価差額金	△620	△677
為替換算調整勘定	△411	△418
その他の包括利益累計額合計	△956	△1,048
新株予約権	242	279
純資産合計	41,685	40,570
負債純資産合計	108,935	107,581

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年１月31日）
売上高	28,668	33,147
売上原価	20,743	24,023
売上総利益	7,924	9,123
販売費及び一般管理費	4,522	5,096
営業利益	3,402	4,027
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	0	12
駐車場違約金収入	12	10
未利用チケット収入	23	39
その他	47	24
営業外収益合計	86	89
営業外費用		
支払利息	103	100
駐車場解約費	52	82
その他	8	40
営業外費用合計	164	223
経常利益	3,324	3,893
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	－
特別損失合計	1,147	－
税金等調整前四半期純利益	2,177	3,893
法人税、住民税及び事業税	1,198	1,358
法人税等調整額	△134	343
法人税等合計	1,063	1,701
少数株主損益調整前四半期純利益	1,113	2,191
四半期純利益	1,113	2,191

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年１月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,113	2,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△27
土地再評価差額金	－	△56
為替換算調整勘定	23	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△29
その他の包括利益合計	58	△91
四半期包括利益	1,172	2,100
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,172	2,100

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年１月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,177	3,893
減価償却費	2,748	3,172
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	66	△19
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7	9
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	103	100
売上債権の増減額（△は増加）	214	423
たな卸資産の増減額（△は増加）	167	161
仕入債務の増減額（△は減少）	△218	△80
未収入金の増減額（△は増加）	437	△750
前払費用の増減額（△は増加）	284	396
未払金の増減額（△は減少）	△724	△584
設備関係支払手形の増減額（△は減少）	340	△282
その他	90	487
小計	6,839	6,925
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△110	△129
法人税等の支払額	△3,339	△3,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,391	3,555
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,641	△3,070
有形固定資産の売却による収入	3	9
無形固定資産の取得による支出	△45	△75
投資有価証券の売却による収入	12	－
長期前払費用の取得による支出	△942	△414
その他	△72	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,685	△3,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,979	1,880
長期借入れによる収入	－	2,100
長期借入金の返済による支出	△1,035	△1,037
リース債務の返済による支出	△564	△598
株式の発行による収入	－	1,024
配当金の支払額	△4,266	△4,280
その他	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,886	△911
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,174	△977
現金及び現金同等物の期首残高	12,476	11,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,302	11,003

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成22年11月１日 至 平成23年１月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,333	4,334	28,668	－	28,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	265	11	277	△277	－
計	24,598	4,346	28,945	△277	28,668
セグメント利益又は損失（△）	5,396	△277	5,119	△1,716	3,402

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△1,716百万円には、のれんの償却額△38百万円、全社費用△1,678百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成23年11月１日 至 平成24年１月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,018	6,129	33,147	－	33,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	7	44	△44	－
計	27,055	6,136	33,191	△44	33,147
セグメント利益又は損失（△）	5,653	△302	5,351	△1,323	4,027

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△1,323百万円には、のれんの償却額△89百万円、全社費用△1,234百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。